

3 農水産物の国内はん売の取り組み

① 農林水産物の国内での流通

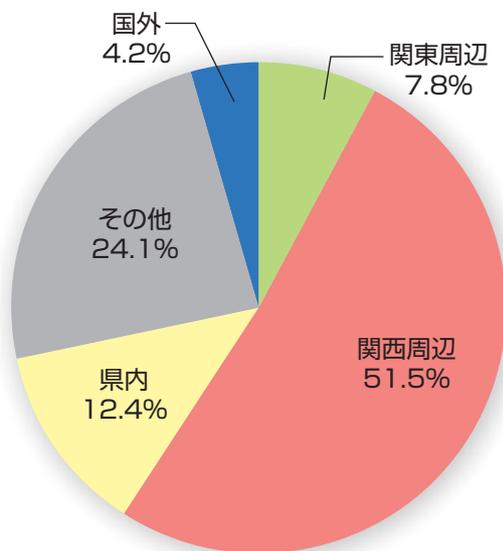
鳥取県を代表する「なし」、「すいか」などの特産品は、東京、大阪といった大都市を中心に全国へ向けて出荷されています。

例えば、鳥取県産のなしは、全体の約9割が県外へ出荷されており、このうち約5割は大阪を中心とする関西地区へ出荷されています。

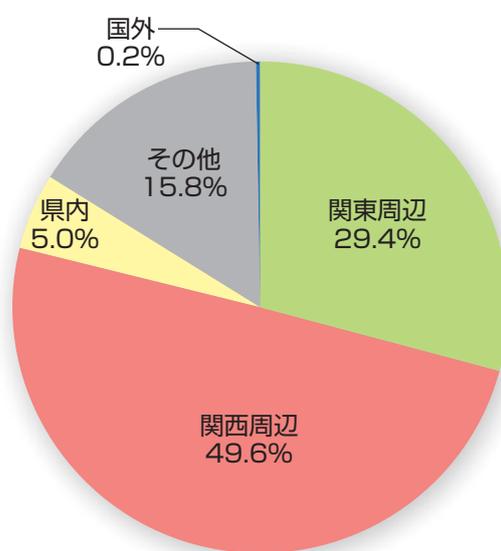
また、すいかは、全体の9割以上が県外へ出荷されており、その内わけは約5割が関西地区、3割が関東地区となっています。

なし、すいかともに市場に出荷された後は、卸会社や仲卸を通じてデパートやスーパーなどではん売されています。

県産なしの出荷先 (%)



県産すいかの出荷先 (%)



[2023年/JA全農とっとり]

②大都市圏での県産品PRの取り組み

鳥取県では、東京や大阪、名古屋など大都市圏のデパートやスーパーなどで、「鳥取すいか」や「なし」^{なご}、「松葉がに」^{まつば}、「鳥取和牛」^{わぎゅう}など、県内の農林水産物の旬の時期にフェアなどを開催し、旬の食材のみ力を消費者にPRしています。

また、2014年（平成26年）

には、東京の新橋駅近くに鳥取県と岡山県が共同で、アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」^{しんばしえき}をオープンしました。両県特産の農産物や加工品、民芸品などがはん売されているほか、特産品を使ったレストラン、観光や移住および就職についてのコーナーなどがあり、年間約50万人が来店されています。

こうした取り組みを通じて、鳥取ならではの旬のおいしい農林水産物を全国におとどけしています。



首都圏のデパートで二十世紀梨のふるさと千葉県と一しょになしをPR



東京にある鳥取・岡山両県の特産品がそろう「とっとり・おかやま新橋館」



「とっとり・おかやま新橋館」2階レストランでは鳥取の食材を使ったメニューが食べられる